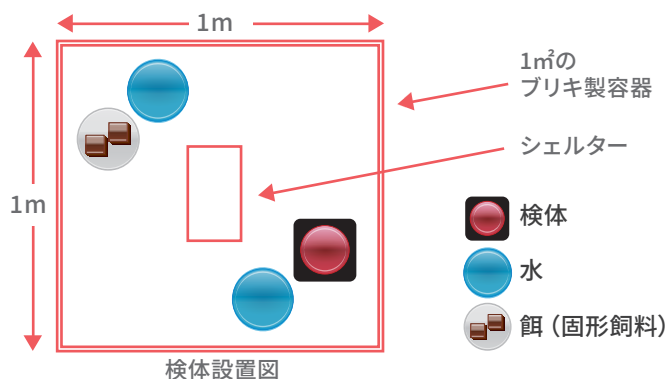


## マックスフォース マグナム チャバネゴキブリに対する任意摂食室内試験①

**前処理** 試験容器（1㎡、ブリキ製）にチャバネゴキブリ雌雄成虫（各50頭、合計100頭）を一昼夜以上放置した。

### 1 試験方法

検体（マックスフォース マグナムを注入した誤食防止容器）を配置し、LT<sub>50</sub>、LT<sub>90</sub>、マックスフォース マグナムの喫食率を求めた。LT<sub>50</sub>、LT<sub>90</sub>：それぞれ半数致死又は90%致死に至るまでの日数を示す。



### 2 結果

マックスフォース マグナムは対照薬剤に比べ、半数致死時間（LT<sub>50</sub>）は、ほぼ同等であったが、90%致死時間（LT<sub>90</sub>）に関しては有意に優れていた。マックスフォース マグナムは試験開始後6日で食べつくされ、対照薬剤の10日後の26.4%に比べて非常に高い喫食率を示した。

| 供試薬剤             | 雌雄各数<br>(合計供試虫数) | 配置量<br>(g/㎡)   | LT <sub>50</sub><br>(日) | LT <sub>90</sub><br>(日) | 平均喫食率<br>(%) |
|------------------|------------------|----------------|-------------------------|-------------------------|--------------|
| マックスフォース<br>マグナム | 各50頭<br>合計100頭   | 0.4g<br>(容器入り) | 0.952                   | 1.87                    | 100          |
| 対照薬剤M            | 各50頭<br>合計100頭   | 0.3g<br>(容器入り) | 0.926                   | 2.70                    | 26.4         |

### 3 考察

マックスフォース マグナムは高い喫食性と、確実な致死効果（90%致死時間）を持つ優れたゴキブリ用ベイト剤ということがわかった。

**試験機関** （財）日本環境衛生センター